

craftrecipe

口金の付け方 ~紙ひも差し込み口金タイプ~

ぺたんこがま口

【出来上がりサイズ】
(約)縦 10.5cm×横 15.5cm



材料

表布・裏布 (20cm×17cm)	各 1枚
がま口 口金差し込みタイプ	
15.5cm×7.5cm 角型 (紙ひも入) 1ヶ	
ミシン糸 #60	1ヶ

※表布・裏布は、縫い代込みのサイズです。

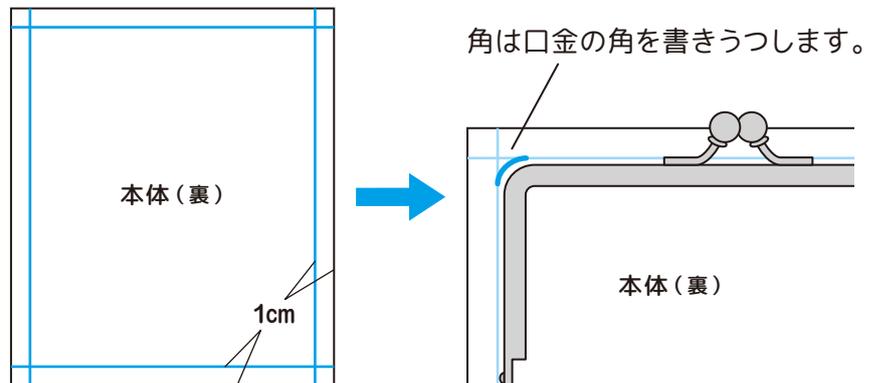
用具

- ・チャコペン or ペンシル (水で消えるタイプ)
- ・定規・はさみ・ミシン・ミシン針 (11番)
- ・手芸用ボンド (細口ノズル)・つまようじ
- ・シリコンペンチ (またはペンチ)
- ・がま口差し込み器具 (またはマイナスドライバー)
- 【適宜使用】・アイロン・マチ針・目打ち etc.

作り方

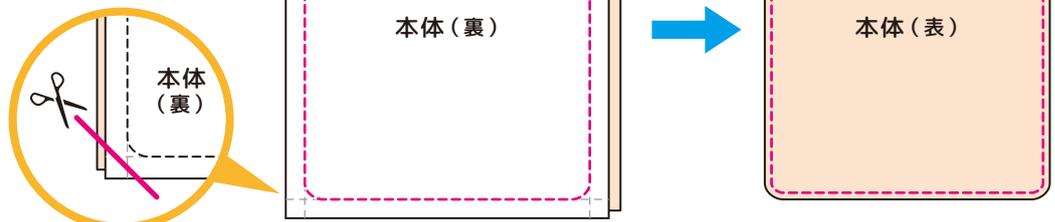
1 本体を作る

- ① 裏布の裏面に縫い代線を書きます。



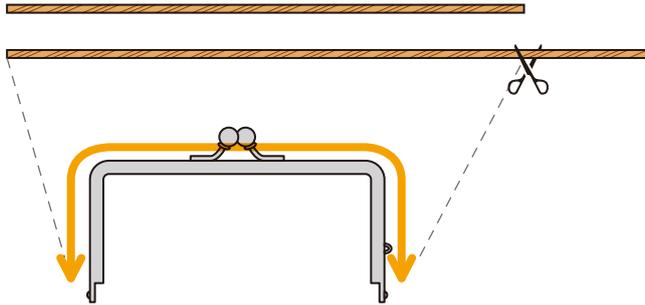
- ② 表布と裏布を中表にあわせ返し口を残し縫います。表に返し、周りを縫います。

Point 角の縫い代を少しカットすると返した時キレイ★



2 口金を取り付ける

① 口金の長さにあわせて紙ひもをカットします。(2本)

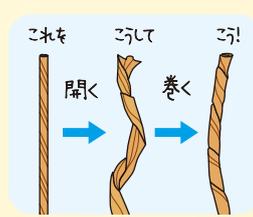


Point 少し(5mm~1cmくらい)短めに切ると口金に入れた時、はみ出さずに仕上がります★



紙ひもはとっても重要★

出来上がってからの丈夫さに差が出るのがこの『紙ひも』使ったら本体と口金が外れた…そうならない為に!



ちょっとひと手間! 紙ひもの撚りを少し開き巻き直しましょう。

紙ひもと口金の接着する面積が増えるので、よりしっかりと接着されます。

上の巻き直しをしても口金の溝に合わない…そんな時は、溝にあわせて紙ひものサイズを変えましょう!

紙ひもが細い時 紙ひも 1.5本~2本を1本に巻き直す

紙ひもが太い時 紙ひもを半分に切って巻き直す

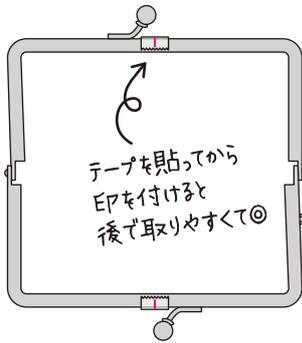
もちろん違うサイズの紙ひもを買ってもOKです!

*口金の種類や生地の厚さによって溝の隙間はそれぞれ。ボンドを入れる前にしっかりと固定されるか確認してみると◎ ちょっときつく感じるくらいがちょうどいいです。これで口金を外れにくくなります!

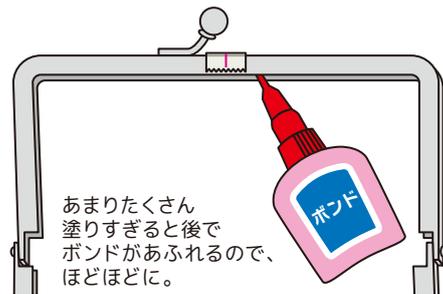


中心に印をつけよう!

口金の中心に印を付けておくと、生地を入れる時にあわせやすく歪み防止にもなり仕上がりがキレイに!



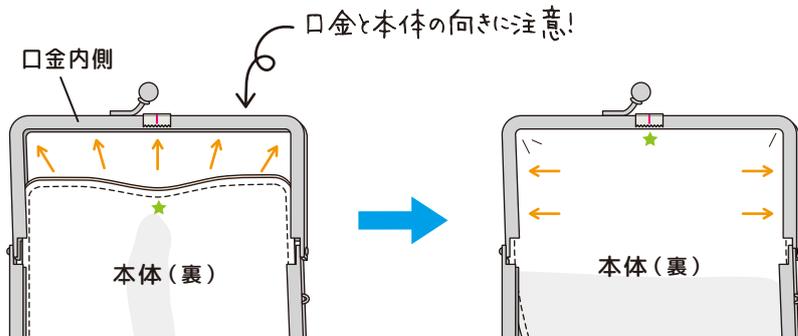
② 口金の溝部分にボンドを入れます。



口金の奥だけでなく、爪楊枝などを使って側面にも塗り広げます。



③ 本体を目打ちなどを使って口金の溝に差し込みます。

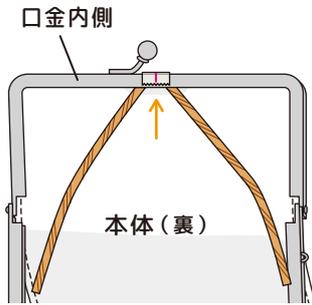


奥までしっかりと差し込みます。

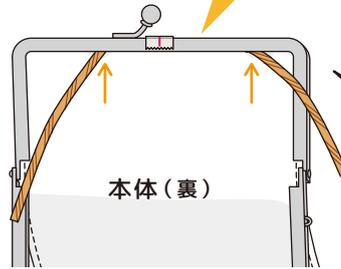
中心がずれないように合わせ、サイドもしっかりと入れます。

ボンドがあふれたらティッシュ等でふき取ります。口金に付いたボンドは完成後でも簡単に取れますが、生地に付いたボンドは取れにくいのでご注意ください…

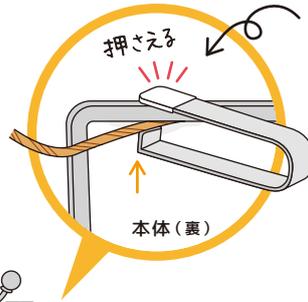
④ ボンドが乾かないうちに、本体の内側に紙ひもを押し込みます。



紙ひもと口金の中心を合わせ押し込みます。

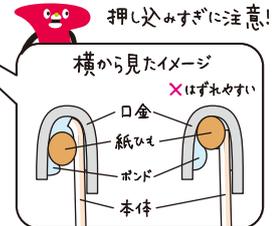


左右に少しずつ入れていきます。



がま口差し込み器具を使うと手早く安全に差し込めます。

樹脂部分を口金にあて、カギ部分で押し込みます。

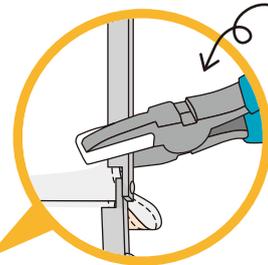
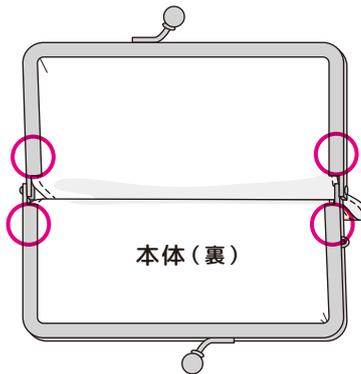


押し込みすぎに注意!

横から見たイメージ
×はずれやすい

奥まで入れすぎず、口金に隠れるくらいでOK!

⑤ 反対側も同様に入れたら、ペンチを使って口金の四隅をカシメます。



シリコンペンチを使うと口金にキズが付きにくく、カシメる場所が分りやすく、便利です★

※普通のペンチを使う場合は必ず当て布をしましょう。

ペンチを使う
その前に... **Check!**

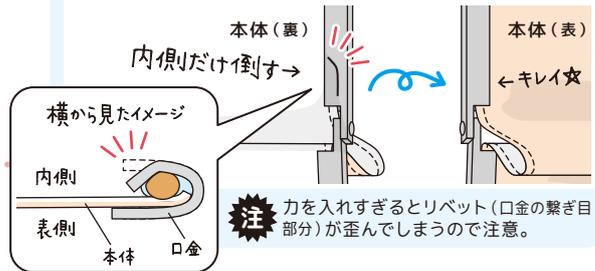
シワや歪みが無いか表側からしっかり確認!



カシメてしまう前に、シワや歪みは直しておきましょう。

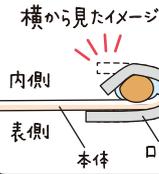


ペンチは力を入れすぎず、手首を少しひねって口金の内側だけを倒す要領でカシメると、表側は曲がらないのでキレイなままです。



内側だけ倒す→

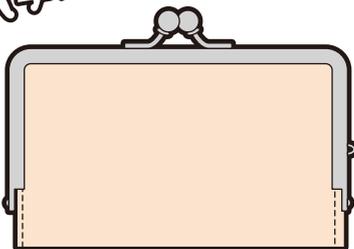
←キレイ★



注 力を入れすぎるとリベット(口金の繋ぎ目部分)が歪んでしまうので注意。

⑥ 口を開けた状態で半日~1日しっかりボンドを乾燥させたら、できあがりです。

パチパチ★



★ 完成 ★

コツをつかめばかんたんなんだね



動画はこちら→

